

1. <施策の概要>

基本理念	活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり	統括課	事業部 都市整備課
基本方針	まちなみ		
施策名	市街地形成	関連課	
方針・目標等	◆市街化区域内の空閑地利活用 ◆新たな都市空間と住環境の整備 ◆活性化区域と閑静な住宅区域の調和		
実施内容	◆狛田地域まちづくり整備 ◆町の中心地・学研都市の玄関口としての新祝園駅・祝園駅のバリアフリー化		

2. <指標の設定>

	重点	指標名	単位	他団体比較 団体名／実績／年度		算式・引用等	
①	○	精華・西木津地区学研施設用地利用率	%			都市整備課調べ	
②		狛田駅東特定土地区画整理事業の進捗率	%			都市整備課調べ	
③		鉄道駅周辺のバリアフリー化率	%			JR祝園駅	
④							
⑤							
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標	64.0	66.0	68.0	70.0	72.0	74.0
	実績	64.1	65.6	67.4	68.2		
②	目標	12.40	25.94	46.92	71.51	94.86	100
	実績	13.01	24.57	34.02	57.03		
③	目標	100	100	100	100	100	100
	実績	82.5	82.5	82.5	82.5		
④	目標						
	実績						
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・精華・西木津地区の学研施設用地への企業立地促進のため、京都府と協力しながらUR都市機構や京阪三社との調整を図った。

・町の北部拠点整備として推進している狛田駅東特定土地区画整理事業において、承認されている事業実施計画に基づき事業を推進しているが、ここ数年、国からの交付金が要望額を下回ったため、今後、事業計画の延長を検討する必要がある。

・鉄道駅周辺のバリアフリー化率は、平成32年度までに誰もが公共交通機関を利用し、安全、快適に目的地に移動することができるよう、鉄道事業者と協議していく必要がある。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・狛田駅中・駅西地区については、学研都市の南田辺・狛田地区の開発の動向や狛田地域まちづくり基本構想を踏まえて、検討していく必要がある。

・昨今の経済情勢の影響を受けて学研都市の南田辺・狛田地区の開発が遅れており、今後の開発動向を適格に踏まえ、駅周辺の整備計画の策定が必要となる。

・さらなるバリアフリー化を推進するためには、バリアフリー基本構想等の策定を通じ、関係機関や地域住民の合意形成が有効と思われる。

4-1. ＜施策を構成する事業＞

重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 ＜単位：千円＞					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	都市整備課	-	-	-	10,016	36,442	
	道路改良事業(交付金分)(都市整備課)	-	-	-	2,374	28,800	
	投資的事業 185	-	-	-	168	1,260	
2	都市整備課	19,812	123,996	177,152	119,999	174,568	273,714
	狛田駅東特定土地区画整理事業(単独分)	16,761	120,486	172,053	109,201	163,770	262,916
	投資的事業 195	0	0	0	0	0	262,916
3	都市整備課	185,124	265,399	159,785	129,009	160,385	307,385
	狛田駅東特定土地区画整理事業(交付金分)	160,782	245,700	135,667	107,624	139,000	286,000
	投資的事業 197	96,382	140,700	135,667	4,831	6,250	286,000
4	都市整備課	8,840	35,626	23,243	8,809	-	-
	狛田駅東特定土地区画整理事業(交付金分)(繰越明許)	7,161	29,218	15,300	4,433	-	-
	投資的事業 197	3,939	16,070	15,300	0	-	-
5	都市整備課	2,500	1,419	1,485	1,506	1,531	8,505
	菅井西・植田南整備事業	13	9	11	1	26	7,000
	投資的事業 197	13	9	11	1	26	7,000
6	都市整備課	1,774	2,661	3,111	14,512	9,507	9,615
	都市計画総務事務費	578	852	847	5,511	806	914
	一般事業 189	305	652	660	5,298	704	914
7	都市整備課	1,698	1,862	1,925	1,963	1,945	1,945
	土地利用規制対策事業	100	53	51	64	46	46
	一般事業 191	43	7	0	13	0	0
8	都市整備課	3,212	-	-	3,924	4,042	4,047
	都市計画審議会	81	-	-	52	170	175
	一般事業 191	81	-	-	52	170	175
9							
10							

4-2. ＜施策を構成する事業の成果と課題＞

・狛田駅東特定土地区画整理事業は、交付金の減額が影響したものの、承認されている実施計画に基づく事業執行を進めることができた。ただし、事業進捗に遅れが生じているため、今後の事業計画の延長を検討する必要がある。・狛田駅中・駅西地区については、学研都市の南田辺・狛田地区の開発の動向や狛田地域まちづくり基本構想を踏まえて、検討していく必要がある。・祝園駅中地区及び菅井西・植田南地区の整備については、町の賑わいや活性化と住環境の整備ということで、組合施行での土地区画整理事業や再開発事業の組合設立認可に向けた取り組みが必要である。

5. ＜施策の今後の方向性＞

・狛田駅周辺整備については、学研都市の南田辺・狛田地区の開発の動向や狛田地域まちづくり基本構想を踏まえ、今後改定予定の都市計画マスタープランで具体的な内容を検討していく。
・祝園駅中地区及び菅井西・植田南地区の整備については、組合施行での土地区画整理事業や再開発事業等で検討されており、また、祝園駅中地区は景気低迷による保留床の処分価格が不透明であり、事業計画の成立性を再検討する必要がある。
・菅井西・植田南地区については、設立準備会の開催や地権者の合意形成に向けて取り組みを進める。